



【教育環境部会】

歴史文化探訪委員会（委員長 清水力さん）

○雨山合戦地紹介看板の作成を企画

8月8日（火）歴史探訪委員会が開催されました。今年度の活動として、雨山合戦地を紹介する看板を作成することが決まりました。そこで雨山合戦について調べてみました。



宗堅寺所蔵の菅沼家譜に雨山合戦の様子が描かれています。雨山合戦は、弘治2年（1556年）8月4日明け方、雨山町の風越峠を超えて攻め下ってきた野田城主、菅沼定村の軍勢が、木戸柵を結って待ち構えた陣地に突入してきました。若干19歳の阿知波定直と作手から本宮山越で援軍に来た奥平貞勝と共に、これを打ち破り定村は討死した。この合戦は、織田軍と今川軍の対立が背景にあり、貞勝と定直が織田軍に味方するのを憎んで、東三河の七将に命じて、今川義元がこれを従えようとした戦いだそうです。

○雨山ハイキングコースの案内板46枚を作成



8月21日（月）午前10時から宮崎保育園の宮崎放課後子ども教室で「雨山歩きマップ」ハイキングコースの案内板を作成しました。当日は、一時停電というハプニングがあり猛暑の運動場にビニールシートを敷いて作業を行いました。参加メンバーは、子ども教室の児童8名、地域貢献団体「AIPRO」愛知大学の学生4名、地域おこし協力隊の松田紗代さんと委員会7名の計20名でした。作成する看板は、大学生の指導のもと児童が独自の発想で描いたことで、ユニークでバラエティーに富んだ案内看板になりました。子供たちは、汗とペンキまみれになりながら最後までやり遂げました。完成した案内看板の一部を「天使の森」周辺に設置してみました。児童のアイデアで作成した看板は、不思議と現地にマッチしていることに驚いています。参加の皆さんの協力で素晴らしい案内板ができたことに感謝するとともに、多くの人に「雨山歩きマップ」のコースを歩いて、作成した案内看板を見ていただきたいと思ひます。

【くらがり活性化部会】

くらがり活性化実行委員会（委員長 菅沼弘さん）

○次代につながる観光地くらがり溪谷の魅力

くらがり溪谷を訪れる観光客はコロナ前を上回る状況です。SNS上でのくらがり溪谷のロコミをみると、「避暑地、緑豊かで清流の溪谷は、アウトドアにも最高等、高い評価をいただいています。



先日、お客さんとの会話でこんなことがありました。30代のイケメンの好青年が妻子を連れてニジマスのつかみ取りをしていました。仕事は航空自衛隊のパイロットだそうです。父親が競輪の選手時代、田原坂を自主トレの場としており、くらがり溪谷に家族で遊びに来てとても楽しい思い出となったそうです。今回くらがり溪谷に来た理由は、今度は自分が家族を連れて遊びに来たということでした。厳しい競争の社会である競輪選手が、自主トレ途中に見つけたくらがり溪谷～家族サービス～その息子さんとの出会い。くらがり溪谷での楽しい思い出が、親になって子供と遊びに訪れたことを知り、そんな風に繋がっていたのかと感無量でした。私たちも現状に満足することなく一層の努力を進めてまいります。

【宮崎まちづくり協議会】

宮崎学区総代会（総代会長 竹下正昭さん）

○令和5年岡崎市地域総合防災訓練を開催

9月3日（日）宮崎小学校において令和5年度の岡崎市地域総合防災訓練が開催されました。東南海地震は、いつ発生してもおかしくないといわれる中での訓練でした。



午前6時30分、大規模災害が発生したとの広報と情報伝達訓練が開始されました。①地区住民は、直ちに家族の安全と火の元を確認します。日頃より準備している非常持出袋を携え、帽子やヘルメットをかぶり各町の指定された場所へ移動します。本部では、避難所の開設訓練が始まります。②次に防災協会役員の誘導で指定避難所である宮崎小学校に向けて避難を開始します。本部では、災害対策本部が開設されました。③宮小に集合すると、避難人数と被災状況の確認を実施し、本部へ報告します。④訓練開始のアナウンスが、協会長から発せられ、すぐに訓練が開始されました。⑤初期消火訓練 ⑥AEDを使用した応急手当訓練 ⑦防災倉庫備蓄資器材の確認 ⑧避難所滞在スペースの設置と体験 ⑨福祉タクシーの見学と体験が行われました。訓練途中には、市長からのメッセージをいただき、充実した訓練となりました。

【宮崎まちづくり協議会】

石原お助け隊（隊長 梅村奉英さん）

○宮崎小学校親子三代清掃活動に参加



令和5年8月26日（土）熱中症を心配するような快晴の中、宮崎小学校の清掃活動に参加しました。夏休み最後の土曜日に親子三代が集い清掃活動をするものです。石原お助け隊は、毎年この活動に参加して新学期に児童たちが気持ちよく登校できるように支援しています。宮崎学区に転入してこられた方の子供たちが仲良く学ぶ姿を期待しています。

宮崎まちづくり活動団体情報

Vol. 18



【宮崎まちづくり協議会お助け隊】

令和5年度 第1回目のマイタウンマイロード事業を実施

○行政区を超えた県道の草刈りは、地域住民のご理解の上で実施されています

令和5年7月2日（日）、本年度も皆様のご協力をいただき県道の草刈りを実施することができました。愛知県が推進するこの事業は、愛知県と地元市町村と住民の3者が一体となり地域に密着した、きめ細やかな草刈り作業をする事業です。県は、草刈り業務を実施団体に委託し、実施団体は、県管理道路の一定区間において草刈りを実施。地元市町村は、刈草や一般ごみの受け入れを協力します。安全に草刈り作業のできる一定区間（概ね500㎡以上）において、草刈業務を実施団体に委託します。草刈り業務において発生する刈草は、地元市町村の処理施設へ持ち込むか、自ら堆肥として利用することもできます。委託業務の流れは、①事前相談（4月末までの実施団体の公募） ②申し込み受付（応募様式で提出5月15日まで） ③契約締結 ④草刈りの実施 ⑤完了手続き（作業記録を報告書として提出） ⑥報告書の確認をして後日費用の支払いとなっています。宮崎学区の事業として、3年目を迎えました。豊川市の萩町と千両町へ向かう隣接道路は、先方地区からは熱望されている草刈地区ではありません。そこで宮崎まちづくり協議会は、学区へ来ていただける方や通勤・通学で出かける皆さんが安心して通行できるように、マイタウンマイロード事業に参加して、草刈を実施することとなりました。総代会と宮崎まちづくり協議会の合同事業として、これからも作業を続けていきたいと思えます。

○作業状況画像（安全対策と熱中症対策が必要です）道路標識周辺の草刈りも実施

